

資格取得サポート

看護師・保健師・助産師の3資格の取得をめざせることが本学部の魅力。学生たちをさまざまなサポートで国家試験合格へと導いています。

取得できる資格

◆卒業までに取得できる国家試験受験資格

看護師受験資格

128単位を取得した学生全員

看護師として疾患や障がいをもつ人に対して治療上の世話や、医師による診療の補助などを行うための国家資格です。受験資格を得た後、筆記試験を受験し、合格すると看護師国家資格が得られます。

保健師受験資格

128単位を取得した学生全員

保健師として健康相談や家庭訪問による保健指導など個人の支援から、地域や企業への健康指導・管理を行うための国家資格です。受験資格を得た後、筆記試験を受験し、合格すると保健師国家資格が得られます。看護師国家試験の合格も必要です。

助産師受験資格

選考審査に合格した5名程度

助産師として妊娠・出産・産後の女性に対して健康指導、分娩介助などの役割を担うための国家資格です。3年次後学期終了時に実施される選考審査に合格した学生が4年次の助産学関連科目を履修できます。卒業要件である128単位に23単位を加え、合計151単位の取得で受験資格が得られます。

◆保健師資格に合格後、取得できる資格

第一種衛生管理者 (免許)

衛生管理者として労働者の健康管理にあたる国家資格。保健師免許に基づいて、都道府県労働局または労働基準監督署に申請することで交付されます。

養護教諭二種 (免許)

本学部の選択科目『法学(日本国憲法を含む)』『保健体育』『身体活動論』『情報学』の全単位を取得し、保健師免許に基づいて、各都道府県教育委員会に申請することで交付されます。

国家試験受験サポート

◆受験サポートのポイント

国家試験対策ゼミ

POINT
1

数人のグループとなり学習を進めます。担当教員が学生一人ひとりの学習状況を踏まえ、きめ細かいサポートをします。



POINT
2

国家試験対策セミナー

講義を通して国家試験出題基準の項目について確認します。基礎知識をまとめたり、解答に必要な力を高めます。



◆受験サポートの流れ

2年次

3年次

4年次

模擬試験・国家試験ガイダンスの実施

教員1人が学生15人程度を担当し、個別の学習指導を実施

授業とは別に「国家試験対策セミナー」を開講

◆国家試験の合格率推移

看護師、保健師、助産師国家試験とも毎年高い合格率を誇っています。全国平均合格率を上回る合格率は、本学部の教育の質とサポート力の高さを証明しています。

区分	2021年	2022年	2023年
看護師	98.1%	100%	99.0%
保健師	98.1%	95.2%	98.0%
助産師	100%	100%	100%

当該年3月卒業生実績

国家試験合格者に Q&A



自治医科大学附属病院
泌尿器科 整形外科

森下 桜さん

(2022 年 3 月卒業)

栃木県立

宇都宮中央女子高等学校 出身

Q 国家試験に向けてどんな勉強の工夫をしましたか？

A 2つの試験のつながりを意識して勉強する

看護師と保健師の国家試験の勉強は全く別物というわけではありません。保健師の勉強をすれば自ずと看護師の試験の勉強にもなります。そのため、どちらかに偏って勉強するのではなく、2つの試験のつながりを意識して勉強するようにしていました。

Q 国家試験対策ゼミやセミナーで役立ったことは何ですか？

A 国家試験の重要ポイントを押さえた授業

少人数の学生に対して、先生が担当してくださるため、何か困ったことがあったときにいつでも相談できる相手がいるという安心感がありました。また国家試験対策ゼミは、例年正答率が低い問題などを重点的に取り上げて指導してくださり、勉強するべきポイントが分かりやすかったです。

先生 VOICE

保健師・助産師・看護師国家試験の合格に向けて、4年生には模擬試験や遠隔と録画を用いた教員による国家試験対策、教員2名体制による学習支援を行っています。さらに、学部内に参考書や問題集等を配置し、土曜日の教室開放など学習環境の整備に努めています。また、2・3年生には国家試験ガイダンスと低学年模試も実施しています。



国家試験対策委員会 委員長
老年看護学
浜端 賢次先生

Support

奨学金制度

本学部には独自の奨学金制度があり、毎年多くの学生が利用しています。その他、公的奨学金も利用可能。学生の学びたい気持ちを応援しています。

本学部独自

自治医科大学看護学部奨学金

本学部独自の奨学金制度で、無利息で貸与するものです。228名の学生が利用しています。(2023年3月現在)

【貸与について】

- ① 無条件：月額5万円まで希望者全員に貸与します。
- ② 審査あり：経済的理由で修学が難しく、学業・人物ともに優秀だと認められる場合、月額5万円まで加算します。①と合わせると最高月額10万円まで貸与されることになります。

【返済について】

返済は卒業後6年以内に分割返済することになります。

貸与実績 (2023年3月現在)

●自治医科大学看護学部奨学金(本学部独自・無利息) ※在学生414名

審査	貸与額(月額/単位:円)	貸与人数A	貸与率(A/在学生数)
なし (無条件)	10,000	0	0.0%
	20,000	5	1.2%
	30,000	16	3.9%
	40,000	4	1.0%
	50,000	203	49.0%
計		228	55.1%
あり	60,000～100,000	0	0%
合計		228	55.1%

自治医科大学看護学部奨学金の返済例(月額5万円の貸与)

◆月額5万円の奨学金を在学中の4年間に貸与

- 1年間の貸与額 / 60万円(5万円×12ヶ月)
- 4年間の貸与額 / 240万円(60万円×4年)

◆240万円の奨学金を在学年数4年の1.5倍の6年間で返済

- 1年間の返済額 / 40万円(240万円÷6年間)
- 年2回の夏冬ボーナス時期の各返済額 / 20万円(40万円÷2回)

高等教育の修学支援新制度

本学は対象機関(確認大学)となっています。

日本学生支援機構奨学金

独立行政法人日本学生支援機構が貸与するもので、学校を通じて申し込みます。

貸与実績 (2023年3月現在)

●日本学生支援機構奨学金 ※在学生414名

区分	貸与種別	貸与人数A	貸与率(A/在学生数)
貸与型	第一種(無利息)	42	10.1%
	第二種(利息あり)	26	6.3%
給付型	給付型	25	6.0%
合計		93	22.4%

Support

学生生活サポート

遠方から入学する学生も多い本学部では、学生の精神・健康面や学習・進路などについて丁寧にサポートするほか、経済面のサポートも充実しています。

学年担当アドバイザー制度

各学年3名のアドバイザー。 進路や生活、何でも相談できます。

本学部には学年担当アドバイザー連絡会という学生支援組織があり、各学年約100人を専任教員3名がアドバイザーとして担当しています。学業や人間関係の悩みなど学生生活のさまざまな問題に対し、具体的かつ丁寧・親切にアドバイスをを行い、皆さんの夢実現の一助となるよう、一生懸命取り組んでいます。



アドバイザーの先生VOICE

学生みなさんが快適で充実した大学生活を送れるようにさまざまなサポートを行っています。本学部独自の制度を含めた奨学金の利用に関する相談、女子学生寮、男子学生寮の運営、臨床心理士であるカウンセラーを配置した相談ルームの調整など、幅広い福利厚生分野における支援をしています。



アドバイザー統括責任者
大塚 公一郎 先生

看護学部1年生は、大学入学によって、学習環境、生活環境が大きく変わります。専門性を増す学習内容に将来像が明確になっていく半面、焦りを覚えることもあります。私たちアドバイザーは、皆さんが目標に向かって、より良い環境で学ぶためのお手伝いをします。安心して充実した学生生活を送れるよう、アドバイザーをご活用ください。



1学年担当アドバイザー
内堀 真弓 先生

◆事務的な手続きは看護学務課スタッフがサポート

学生生活で必要となるさまざまな事務手続きを円滑に進められるよう支援しています。奨学金関係の手続きや証明書の発行、さらに寮生活や通学、課外活動に関する相談など、皆さんの学びの場、生活の場としてのキャンパスライフをサポートしています。



健康サポート

Point
1

保健センター

専任医師と看護師が常駐して、定期健康診断や麻しん（はしか）などの抗体検査、インフルエンザなどの予防接種を無料で実施。健康相談や傷病の応急対応も行っています。

Point
2

学生健康保険組合

学生相互に資金を出しあう共助共済の制度です。主に自治医科大学附属病院を受診したときに、2千円を超えた医療費が年間最高10万円まで給付されます。

Point
3

専任カウンセラー

月に2回、定期的に臨床心理士が相談ルームで対応します。（匿名相談也可）



臨床心理士 原口 麻子 先生